

ダイレクト納付 をしてみませんか

簡単!

便利!

安心!



ダイレクト納付とは・・・

事前に税務署に届出をしておけば、e-Tax を利用して申告や徴収高計算書を送信した後に簡単なクリック操作で、届出をした預貯金口座からの振替により、即時または納付日を指定して納付することができます。



例えばこんな使い方・・・

毎月の源泉所得税について、徴収高計算書（納付書）を e-Tax で作成・送信して、その後簡単な操作で納付手続きが完了します。

この源泉所得税の一連の手続きにつきましては、電子証明書は必要ありません。しかも納付日を指定できることから納付続きを忘れる恐れもなくなります。

まずは、簡単便利な源泉所得税からはじめてみませんか!

随 筆

金 1・銀 4・銅 3 雪と氷の祭典は日本選手の活躍を脳裏に納め無事に幕を下ろしました。若さを武器にし新たな競技に開花させた選手も、実力を発揮できず期待に添えなかった選手も、全ての選手が皆国民に感動を与えてくれました。そして同時期、関東甲信では記録的大雪に見舞われ道路や鉄道の寸断で、各地に孤立足止めが続出しました。車内に数日間缶詰にされたドライバーや乗客の方々は、さぞ心細かったのではと推察されます。しかし、その中で心温まる報道を目にし、日本人はまだまだ捨てたものではないと心を動かされました。足止めされた高速道路で配送中の食品を配給した運転手さんの行為は、同じ苦しみを分かち合い共に助け合う、その昔の小学校道徳の教えそのものです。この事象とも重なり、6年後に迫った東京オリンピックは、「おもてなし」の精神と共に、震災で被災された方々への共助の気持ちを喚起させる大会となるよう祈っています。では、6年後に向け日本がどの様に変貌を遂げるかが気になるころですが、私が携わる業界から目を向けると、安倍政権発足一年半が経過し、大胆な金融政策と積極財政、民間投資を促す成長戦略の「三本の矢」を基本方針に据えた「アベノミクス」により不動産需要が一気に高まりました。東京都心では、億ションが相次ぎ即日完売を記録し、投資用不動産に対する需要も活発で、日本の不動産を割安と見た海外マネーの流入も手伝って価格上昇が急速に進みました。インフレを目指す「アベノミクス」は、個人需要も刺激し金利と物件価格の先高感を背景に、一次取得層のマンション需要も旺盛となりリーマン前の水準に戻りました。しかし、震災復興などによる技能工不足と円安を背景とした資材価格上昇の影響で建築費高騰が深刻化してきました。大手ゼネコンによると、駆体三業種労務費は、この1～2年で15%程度、震災前では30～50%上昇

しました。鉄筋価格は、この一年で10～20%値上がりし、建築費の引き上げに応じない工事は引き受けない建築会社の選別受注が強まりました。住宅需要も上向いてるとは言え、販売価格への100%転嫁は不可能で、事業中止に迫られた案件も少なくないようです。いまだ建築費の天井は見えず、20年の五輪開催まで上昇が続くと懸念されます。五輪開催決定と共に、安倍政権の経済政策をきっかけに経済回復の期待感が高まる中、経済界は新たな景気浮揚の起爆剤としての役割を期待しています。そして、規制緩和と税制優遇を導入する「国家戦略特区」と五輪の相乗効果により、これからの6年間で、

東京の街並みが変貌を遂げる可能性が高まりました。住宅・不動産業界も国際都市としての発展や交通網整備の前倒し、住宅取得マインドの好転といった好影響に期待しています。但し、本年4月消費税が5%から8%に引き上げられることになっていますが、増税自体は以前から予定されていたもので注文住宅は、現行税率が適用される昨年9月までの駆け込み受注が大量発生しました。

今後は、住宅ローン減税の大幅拡充等の施策が重要となってまいります。また15年以降、相続課税が強化されます。今後は、遊休地活用など相続税を減らす不動産コンサルティングに力を入れる、相続ビジネスが活発化することも予想されます。また、現在検討中の「民法改正」については、遅くとも2年後を目処に法案確定する予定です。そして荒川区は、迫り来る大震災への備えを早急かつ着実に行うべく、東京都の「木密地域不燃化十年プロジェクト」の先行実施地区に指定された「荒川2・4・7丁目地区」を皮切りとした、燃えない・燃え広がらない街の整備を区長陣頭指揮のもと推進しています。話は変わりますが、あの大雪のあと、自宅や会社周りの雪かきをしましたか?雪かきを通して近隣に移り住んだ方と言葉を交わし、新たなご近所付き合いの交流が生まれた方もいらっしゃるでしょう。筋肉痛と腰痛に悩まされはしましたが、大雪の効果も満更ではなかったような気がします。

「大雪に思うこと」

町屋支部支部長 半田眞三